

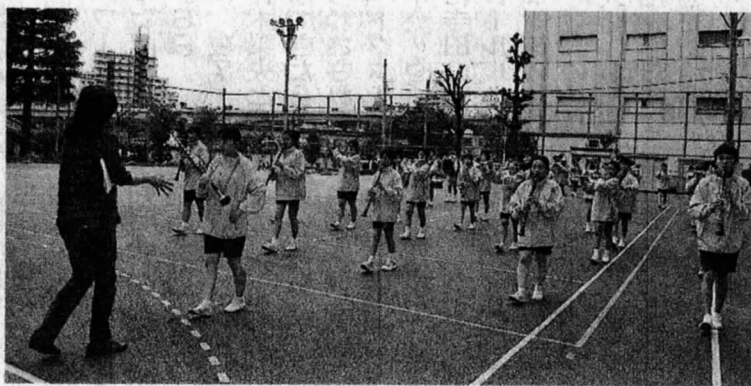
「心ひとつ」「銀座に響く演奏

銀座の大通りを中学、高校、大学などの吹奏楽部やバトン部が行進する「ゴールデンパレード」（都吹奏楽連盟主催）が今年、50回目を迎える。行進ルートとなる西銀座通り（外堀通り）の銀座1丁目から8丁目にかけてが5日、歩行者天国になり、様々なイベントがある。

パレードは1967年、地元企業が「銀座の街頭に音楽を届けたい」と都吹奏楽連盟に提案し、「おくらパレード」として始まった。第3回から「ゴールデンパレード」に名を変え、2006年からは「銀座柳まつり」にあわせて行われている。

パレードは正午すぎに銀座1丁目を出発する。警視庁の交通安全パレードが先導し、人力車に乗った人気キャラクターのキティちゃんや、ポちゃんも登場。続いて各校・団体の吹奏楽部やバントントワ

5日、50回目のゴールデンパレード



校庭でパレードの練習をする日本橋中学校の生徒たち

リング部など23団体が隊列を組んで、迫力ある演奏やパフォーマンス

スを披露する。パレードの総勢は2千人以上を見込み、足立区中学校合同バンドと練馬区中学校・高校合同バンドは200人以上の大編成になる。

日本橋中学校吹奏楽部は地元の人にも人気のある「お江戸日本橋」など5曲を演奏する。48人をまとめる部長の清水晃さん（15）は「3年生で50回目という節目を迎えられて良かった。銀座という大通りでの演奏は緊張するが、心ひとつにまとまりたい」と話す。

1年生を迎えて間もないデビュー戦の意味合いもある。顧問の渡辺浩美教諭は「年に1回の大通りの行進は音も響いて、生徒にとっても気分も良い。入部したばかりではきついだろうが、日本一美しく歩こうと呼びかけている」という。

また、「第11回コンサートの森」が午前11時〜午後4時に数寄屋橋公園（銀座5丁目）であり、パレード参加団体や小学生バンドなど15団体が演奏する。

（有吉由香）